



# 農業用ドローンによる水稲湛水直播の実証試験を実施します

兵庫丹波ブランド農産物（水稲コシヒカリ）の生産維持と農業経営の安定化を図るため、スマート農業技術の活用による省力栽培技術の構築に向けた実証を、丹波篠山市内の水稲大規模農業者に丹波県民局が委託しています。

水稲栽培の省力化を図るために、農業用ドローンを活用した湛水直播※の実証試験を実施します。

※湛水直播：水を張った水田に直接種子を播いて行う農法



水稲におけるドローン直播

- 1 日時 令和8年4月22日（水）10:00～12:00

※天候等の影響により、順延する場合があります。

- 2 場所 丹波篠山市和田（有）みたけの里舎 農業用倉庫周辺水田ほ場（6ほ場）  
（別紙地図参照）

### 3 内容

#### （1）実証試験の背景

丹波篠山市内で約8戸の農家が水稲の湛水直播栽培に取り組んでいる（約30ha）が、播種後の発芽が不安定で収量が安定しない。課題を解決するため、種子（種もみ）のコーティング方法を比較検討することで発芽の安定を図る。

#### （2）試験内容

- ・水稲の農業用ドローンを活用した湛水直播栽培（品種：コシヒカリ）
- ・種子（種もみ）に3種類の特種なコーティングを行い、発芽を比較する。
- ・ドローンで播種、肥料散布、農薬散布といった一連の作業を一貫して行う。

(3) 実証試験で期待される効果

水稻の田植栽培では、1日あたりの作業は約2haが限界だが、ドローンを活用した直播栽培により、機械の移動や苗の運搬などの作業時間が大幅に短縮できるため、1日あたり約5ha作業が可能となり、作業の省力化と効率化につながる。

ドローンによる直播栽培で、地域の平均単収並みの収量確保により、経営安定につながる。

発表者名 (担当者名)	連絡先電話番号
丹波農業改良普及センター所長 玉木 衣央 (地域課長 古田 智彦)	0795-73-3804